

鎌倉 パートナーズ



(薪能 / 西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第88号 平成30年9月発行 (季刊)

発行／編集：鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

リレートーク No8

こんな市民活動しています！

～ そうじはこころの修行 ～



山村 みや子さん

常盤道普請の会 代表

<http://consumer.sakura.ne.jp/>

リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。是非、お知らせください。

当会は市内に11団体ある鎌倉市アダプト・プログラム※団体の一つです。昨年11月に鎌倉市が「アダプト・プログラムの活動とその将来」と題してまちの美化推進シンポジウムを開催しました。アダプト・プログラムには自治町内会の縛りがなく自由に活動できる利点もあるので、仕組みを知っていただき、個性的なまち美化プログラムを作っていただけたらと思います。

活動範囲は常盤市役所通り約500mです。定例活動への年間参加者250人、枯葉等回収ごみ450袋(450)、タバコの吸い殻中心の日常のごみ拾い、ふとんなど不法投棄ごみの片づけも行うので、景観は一年を通して落ち着いています。捨てられたらすぐに片付けるという原則を貫きます。地元常盤町内会や沿線事業者さんとの連携も進むほか、最近は常盤近隣から落ち葉掃きやごみ拾いを手伝ってくださる市民も現れ、昨日まであったごみがいつのまにかなくなっている瞬間に出会うと本当にうれしくなります。汚れた生活道路というイメージを払拭したくて始めた活動ですが、発足から12年、現在の常盤市役所通りは修学旅行生や外国人観光客も行き交う美しい道になりました。

さて、美化活動と言えばトングを持って、缶やビン、燃えるごみを拾う程度を想像するかもしれませんが、それだけではないという事例を紹介します。ここ常盤の谷戸地域には古都法や風致地区条例に守られた歴史的景観があるはずですが、大仏ハイキングコース近くの古道でコンテナや重機などの大型不法投棄ごみに遭遇した時は愕然としました。世界遺産登録を控えた頃で、鎌倉市環境保全課が早々に片付けましたが、当会の通報や協力がなければ環境汚染は続いていました。

参加会員の顔ぶれは変わっても、泥ぼりをかぶり、這いつくばって草を抜く会員への敬意をいつも忘れずに、淡々とこの活動を続けることを私自身の目標にしています。

ついでながら、私は若宮大路の松並木保全活動と常盤山での里山樹林保全活動にも参加していて、いつも写真のような姿をしています。

※アダプト・プログラム…市民と行政が協働で進める清掃活動をベースとしたまち美化プログラムのこと



◆「第20回フェスティバル」を終えて

記録的な猛暑の中、8月25日、26日に昨年を上回る約1,300名の来場者をお迎えし、第20回かまくら市民活動フェスティバルを無事終えることができました。今年は市民活動センターが設立して20周年の節目にあたるため、記念事業の一環としてフェスティバルを位置付け、映画上映やミニセミナーなど例年になく企画を盛り込みました。今回のテーマ「地元ではじめる仲間づくり、まちづくり」は、これからの市民活動を持続可能なものにしていくためにはまず人の力、地元の課題に関心を持ち、市民活動に参加する人の輪をひろげなくては、という私たちの思いを表現したものです。

ホールでは北鎌倉女子学園、七里ガ浜高等学校の吹奏楽演奏を皮切りに、松尾市長の挨拶の後、ドキュメンタリー映画「おだやかな革命」を上映、上映後には監督の渡辺智史さんと環境ジャーナリストの枝廣淳子さんによる対談という形で映画のテーマをさらに深めていただきました。

一方、地下ギャラリーでは新規登録団体の積極的な出展や「地域デビュー楽しみ隊」による「セカンドライフセミナー」、高校生による「ボランティア活動の発表ポスターセッション」、「かまくらファンド報告会」、おなじみの「似顔絵コーナー」「名刺作りコーナー」「ロボットコーナー」「未病・健康コーナー」などフェスティバルらしい交流と賑わいが随所に見られました。また、昨年できなかった複数の市民活動団体間の共催企画も「SDGsバザール」として実現することができました。

さらに昨年に引き続き、市内の学生にボランティア参加を呼び掛け、フェスティバルの運営に関わっていただきました。吹奏楽の演奏、ホールでの司会、バザールの販売のお手伝いから最後の撤収片付けまで本当に頑張ってくださいました。学生の方々の参加は未来の市民活動の希望です。彼らにとってこの体験が市民活動への理解や関心が深まるきっかけとなることを願わずにはいられません。

最後になりましたが、参加63団体の皆さま、市職員各位、学校関係各位、ボランティアの皆さま、市民活動センタースタッフ、そして実行委員会のメンバー、全ての方々のご助言・ご協力なしには今回のようなフェスティバルの実現はあり得ませんでした。ここに委員会を代表してお礼を申し上げます。

(フェスティバル実行委員会 委員長 西畑直樹)

◆映画「おだやかな革命」と特別対談

映画は自然エネルギーによる地域再生の事例に取材していますが、その中で描かれている「暮らしの選択」や「人のつながり」「持続可能な地域経済」はどの地域にも通じる価値観でした。会場からは「未来へ生きる希望が湧いた」「地域の新たな試みに、勇気、元気をいただいた」等の感想があり、「本当の豊かさ」や「仲間づくり、まちづくり」を考える上で有意義な時間を皆さまと共有できたのではないかと思います。



▲枝廣淳子さんと渡辺智史さんの対談

—なぜ、こういう映画を？(枝)

3. 11と地方消滅レポートの衝撃から希望の持てる映画を作りたいだったので。(渡)

—根っこのある暮らしって何ですか？(枝)

伝統的な文化とか食べ物を通じて人がつながっていること、帰属意識とか。(渡)

—人口減少社会の希望って何ですか？(枝)

ポジティブな価値観への転換かな。もう上からお金が降りてこないの、自治する力、自分たちで財源をつくる、作る喜びといった志向性でしょうか。(渡)

◆人生100年時代の「セカンドライフセミナー」

セカンドライフかまくら（生涯現役促進地域連携鎌倉協議会）と市民活動センターの共催企画として、埼玉で活躍する「地域デビュー楽しみ隊」の高荷さんを講師にお招きし、地元でワクワク過ごすためのミニ講座を行いました。地元ではじめる仲間作りのヒント満載、会場からは質問が続出し、非常に盛り上がりました。



▲セカンドライフセミナーの様子

◆持続可能な社会のために～SDGsバザール

団体共催企画として「プラスチックの氾濫」「訪日観光マナー」「食品のロス」など鎌倉の日々の暮らしに関わるテーマとSDGs（持続可能な開発目標）の関係を知るためのテーブルを用意しました。パラソルのもとに集まった方々の間で様々な話題が飛び交い、SDGsについての理解が深まりました。



▲SDGsバザールのワークショップ

◆フェスティバルに参加して（高校生の感想より）

- やらないことをやったので楽しみながらやることができました。話しかけてくださる方が多くてうれしかったです。
- 知らない方でもにこやかに挨拶してくれるのが嬉しかったです。普段、あまり関われない人と交流できて、良い経験になったなと思います。
- 昨年出た反省点などを今年の司会でいやすことができてよかったです。高校生になって2回とも参加できたので、来年もやりたいと思いました。
- いろんな団体のことを1か所で知れるのはよいと思いました。興味深いパネルブースがたくさんあって楽しかったです。
- 鎌倉で今どんな市民活動が行われているかがわかった。
- 自分たちと同じようにボランティア活動している学生の意見を聞くことができて、新鮮でした。



▲七里ガ浜高校の発表



▲北鎌倉女子学園の発表



▲理事長挨拶



▲北鎌倉女子学園の演奏



▲七里ガ浜高校の演奏



▲20周年記念誌の取材班と市長



▲松尾市長

<高校生による展示パネル人気投票結果>

- 1位 図書館ともだち・鎌倉
- 2位 鎌倉子どもミュージカル
- 3位 SDGsバザール



▲パネル展示コーナーの様子



▲かまくらファンド報告会の様子



▲相談コーナーの様子

センターからのお知らせ

第2回 利用登録団体懇話会を開催します

開催日時：10月20日（土）15：00～17：00
会 場：たまなわ交流センター 2階

市の若手職員が市民活動を体験する「市民協働研修」にご協力いただける団体を懇話会の場で募集します。明日を担う若手職員と直に対話・交流できる良い機会です。詳しくは同封チラシをご覧ください。

オルフィスを使い切る！速い！安い！上手い！

開催日時：10月19日（金）17：30～19：00
10月25日（木）17：30～19：00
会 場：NPOセンター鎌倉 1階

日頃ご愛顧いただいている印刷機（オルフィス）の便利な機能を基本から応用まで学び、使いこなすための講座を2回行います。チラシや資料作成の作業効率がグングンあがること請け合いです。ご参加ください。

今年も学生の体験受入にご協力いただきました

「夏休みボランティア体験」の学生受け入れに、ご協力いただきました登録団体の皆さま、ありがとうございました。おかげ様で、延べ30名の学生が市民活動を体験することができました。

第1回 利用登録団体懇話会を行いました

6月23日の利用登録団体懇話会では、鎌倉朝日、タウンニュースの編集者をお招きして「編集者から見た上手な情報発信の仕方」についてお話いただきました。「読者にとって気になる、価値ある情報とは」、「記事にしやすい、なりやすい情報発信の仕方」等、プロの目から見たコツについて伺うことができました。詳しくはセンターホームページをご覧ください。



新規登録団体の紹介（平成30年8月31日現在）

★**かまくら桜の会**：若宮大路を美化するためのまちづくりを目的に、桜の植樹、寺社の庭に成木の植え込みなどを行っています。

★**一般社団法人 SDGs 活動支援センター**：持続可能な開発目標(SDGs)を国内外に普及することを目的とし、「SDGs 活動を行う諸団体並びに個人との協働」、「講習会の企画及び運営」、「各種検定の企画及び実施」等の事業を行っています。

★**ASAL (Art Spirit Art Life)**：アートと学びのあるクリエイティブな人生を過ごすための様々なイベントを開催しています。（トークショー、講演会、映画上映、ワークショップなど）

★**鶴岡ラジオ体操友の会**：体操により健康の維持向上と、会員相互の親睦を図ることを目的とし、ラジオ体操第一、第二と当会オリジナルのストレッチ体操（健康体操）を行っています。夏期には地域の子ども会と合同でラジオ体操を行っています。

★**Petit Train**：鎌倉の文化、人、まちをつなげて100年後も発展し続ける鎌倉を目指すための活動をしています。また、「ビニール袋0のまち」、「ペットボトルの再利用」等、子ども達が発信者となるような活動のサポートをしています。

★**なるちゃんのマンドリン**：マンドリンの弾き語りをとおして情操教育をしています。（乳児と母親、学童保育、障がい者施設、老人ホーム、認知症患者と家族、等を対象に活動）

★**鎌倉川柳協会**：川柳の発展と普及、ならびに川柳をとおして市民の交流と親睦を図っています。



編集後記：当センター登録団体の課題の一つに「後継者の育成」があります。最近登録する団体の中には若い会員のいる団体も増え、市民活動に若者の目が向いてきたのでは、と感じることもあります。20回を迎える「かまくら市民活動フェスティバル」には、延べ50人を超える高校生の参加がありました。また、夏のボランティア体験には例年を上回る応募があり、多くの生徒、学生が市民活動を体験したようです。これからも、若い方たちが参加できる場や機会を提供していきたいと思えます。（道）

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10
TEL：0467-60-4555
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25
（たまなわ交流センター1階）
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

平成30年8月31日現在 **利用登録団体数：364 団体**

※ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。